

# 自然配植技術について

## 自然配植とは

自然配植は、自然のもつ豊かで多様な力をうまく生かしながら緑を創造し保全する技術です。

## 苗木を中心に

自然配植による緑化では、苗木を使い、美しさと育ちを考えながら、密に、あるいは疎に組み合わせることで緑はつくられます。

## 植林化技術としての自然配植

既往の樹林化工法では陥りがちな単純な同齢林とは異なる群落を志向しています。つまり、自然配植では、さまざまなサイズの樹木が共存できる複相性、モザイク性の高い群落を美しく配置することが基本です。全面を一律にすばやく樹林化させるのではなく、百年後の森の姿をイメージし、実現することを大切にしています。

<参考 自然配植技術協会HP>



## 県境不法投棄現場跡地における森林整備のコンセプト

- ① 地域の遺伝子を持つ苗木を使用する。
- ② 必要以上に手をかけず、一つ一つの木が生きる配植をする。
- ③ 極相的樹種（ブナやミズナラ）が成林する森林を目指す。
- ④ 住民の参加により森林を作る。
- ⑤ 地域の専門家を養成する。（地域の森作りは地域の人材で）